

令和5年度 観光地域動向調査事業
「欧米豪市場に訴求する九州観光コンテンツ分析・調査事業」

令和6年2月

国土交通省 九州運輸局

事業受託者：有限会社フクオカ・ナウ

目次

事業背景.....	Page 2
九州における欧米豪市場向け観光の課題	
事業概要.....	Page 3～4
業務の実施方針	
1. 観光コンテンツの企画・体験・取材	
2. 情報発信：発信媒体紹介	
3. 分析・考察	
観光コンテンツの企画・体験・取材：2つのモデルコース	
コース1「折りたたみ自転車で巡る五島列島」	Page 5～12
● コース構築のコンセプト	
● コース旅程	
● ルート図と高低	
● 利用交通機関の英語対応と折りたたみ自転車への対応状況	
● 情報発信	
● 分析・考察	
コース2「バイクのための北部九州ゴールデンルート」	Page 13～19
● コース構築のコンセプト	
● コース旅程	
● ルート図	
● 利用交通機関の英語対応と自動二輪車への対応状況	
● 情報発信	
● 分析・考察	
分析・まとめ.....	Page 20～25
参考事例	Page 26
今後の取り組み.....	Page 27

事業背景

欧米豪からの旅行者は、一般的に長期滞在する傾向が強く、宿泊や飲食などに多くの消費を見込めることから、2023年3月に策定された「観光立国推進基本計画」のインバウンド回復にかかる目標を達成するための重要なターゲットと言える。しかしながら、2019年における訪日外国人旅行者の統計によれば、欧米豪の割合は日本全国で全体の15.4%を占めるのに対して、九州においては4.1%と相対的に少ない数字である。

これは、欧米豪から九州への直行便がほとんどないことに加え、九州の認知度は東京、京都など比べて圧倒的に低いことが原因としてあげられる。民間の調査においては、欧米豪旅行者からの九州の認知度は6%と、東京の認知度47%、京都の認知度27%と比較して極めて低い。

欧米豪市場からも多くの来場が見込まれている2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催に向け、開催効果を全国へ波及させるべく多くの自治体・観光関連団体・民間事業者が連携し地域の魅力発信・商品造成等の取組を進めている。

九州にとっても欧米豪市場からの訪日需要を取り込む最大の好機であるため、課題を明らかにし、認知度向上と誘客、旅行消費向上を図るための情報発信を積極的に行う必要がある。

九州における欧米豪市場向け観光の課題

- 欧米豪市場における九州観光コンテンツへの関心やニーズの把握
- 訴求テーマとターゲット層の設定
- 長期滞在にも繋がる広域的なコース造成
- 観光資源の磨き上げや滞在コンテンツの充実
- 九州に詳しい欧米豪ネイティブ視点による評価や商品造成、情報発信の機会が少ない

事業概要

業務の実施方針

- 九州に暮らし、九州を愛する欧米人視点で旅程を組み立てる。
- 発着は九州の玄関口：福岡
- コースの主軸は観光。九州の風光明媚な景色を楽しむことを優先させる。
- 欧米豪市場からの関心が高いコンテンツを中心に、九州ならではの自然・文化体験を含む素材をバランス良く配置する。
- 雑誌や記事コンテンツの編集のプロ（九州出身者、欧米出身者）が取材、レポートを行う。
- 欧米豪市場からの訪日者を想定し、日本語を読めない人が移動手段の予約を行う。
- リサーチ、予約時点での課題は共有すべき事項としてリストアップする。

1. 欧米豪市場に訴求力のある九州の観光コンテンツの企画・体験・取材

- a. 折りたたみ自転車で巡る五島列島
- b. バイクのための北部九州ゴールデンルート

2. 情報発信：発信媒体紹介

a. Fukuoka Now

webサイト：<https://www.fukuoka-now.com/>

福岡九州の時事ニュースやイベント・おでかけ情報・祭り・イベント・トリビア・花見などの旬の情報をまとめたガイドやインタビュー記事など、国際人視点で切り取る情報を、英語・日本語でタイムリーに発信する国際ナショナルメディア Fukuoka Now。webサイトを中心に情報を発信し、SNSやYouTubeなどと連動して、読者・視聴者の声が集まるコミュニティの役割も果たしている。

在住外国人にとっては、英語ネイティブによる福岡を中心とした九州圏を知る貴重な情報源であり、移住者や旅行者など地域に関する初心者にとっては、福岡九州で楽しむための情報を得るために頻繁にアクセスするメディアでもある。福岡を拠点に毎日更新する英日メディアで、英語、日本語、それぞれの言語のネイティブが丁寧なリサーチを行い、情報発信を行っている。



b. Kyushu Live Japan 九州の魅力発信

YouTube：<https://www.youtube.com/kyushulive>

5.5K subscribers

福岡から九州、Now からLiveへと、これまでの文



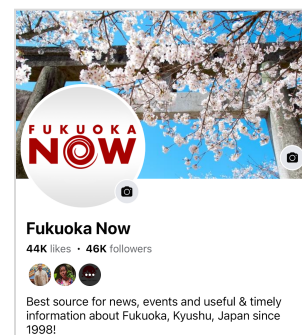
章と写真中心の情報発信から、情報の鮮度とエリアをパワーアップさせた動画メディア。取材に基づいて画像を編集した動画と、街歩きをしながらモバイルでライブ配信を行うライブシリーズ（ライブ終了後はアーカイブの閲覧が可能）の2種類がある。ライブ配信は英語を中心に行われるため、国内外の視聴者が英語を中心に自由に発言できるライブチャット機能により、視聴者との交流や情報交換が頻繁に行われる。地域外からの視点を得ることができるユニークな機会でもある。

c. **Facebook @Fukuoka Now**

<https://www.facebook.com/fukuokanow>

46K followers

九州においていち早くFacebook内に専用ページを立ち上げたFukuoka Now。福岡に関する英語で情報収集やコミュニケーションをとる人々の情報源であり、コミュニティ的役割も果たしている。容易に情報共有ができるため、webサイトで公開された情報をfacebookで投稿すると、読者それぞれのネットワークでさらにシェアされることも多い。投稿内容に関するコメントを書き込むことができるため、多様な視点からの意見に触れることができる。

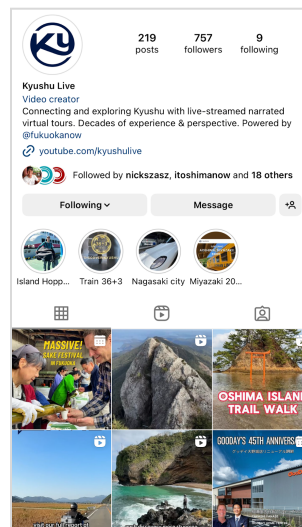


d. **Instagram @KyushuLive**

<https://www.instagram.com/kyushulive>

755 followers

Fukuoka Nowのインスタグラム（@fukuokanow / 13.6K followers）とは別に、動画メディア Kyushu Live独自のインスタグラムを運用し、九州各地の観光コンテンツを中心に発信している。



3. 分析・考察

本事業を通じて得られた実績、成果に対して分析・考察し、訪問した観光地等の評価・改善点の洗い出しを行う。また、情報発信において、掲載結果のデータを整理し、アクセス解析（閲覧者の属性等）及び分析を行うとともに、発信毎の閲覧数、エンゲージメント行動などのデータを用い、閲覧者の興味を惹いたコンテンツや要素がわかる分析の報告を行う。

観光コンテンツの企画・体験・取材：2つのモデルコース

観光コンテンツの企画・体験・取材：コース1

- コース名：折りたたみ自転車で巡る五島列島
- 訪問地：博多港～小値賀島～上五島～福江島～長崎市
- 実施日：2023年10月16日～10月19日
- 日程：2泊3日
- 移動手段：折り畳み自転車、フェリー・高速船、新幹線
- 宿泊：1棟貸切宿（小値賀島）、民泊（若松島）
- 参加者：ニック・サース（カナダ・トロント出身）、サース恵美子（福岡出身）

コース構築のコンセプト

<二次交通は自転車が移動手段>

アウトドア志向の強い欧米豪市場と親和性が高い九州各地の自然を体験できることを中心に企画。環境に対する意識も高く、レスポンシブル・ツーリズム（責任ある観光）への取り組みが旅の前提となりつつある市場であることも鑑み、移動手段は自転車とする。

なお、九州には多くの離島がある地理的特性をアピールするために、離島巡りをコンテンツの中心におく。九州のみならず、日本全体の都市部以外における課題である二次交通は、自転車を移動手段とすることでポジティブに解決することができる。

<地域文化との触れ合い>

宿泊については、地域文化との触れ合いができることを条件に選定。一日目は港町の小さな路地に挟まれた一棟貸しの宿で、暮らすように旅しつつもプライバシーが確保できることを示した。二日目は、地域の女性グループが立ち上げた民泊システムの中から漁師ファミリーの自宅へのステイを選び、郷土食など家庭料理を通じて地域文化に触れられる体験を加えた。

<周遊が可能な地域であることをアピール>

旅の最後には、開通して間もない新幹線での移動を加え、日本らしさと地域の発展性を感じられるようにしている。このように、フェリーや新幹線など複数の交通手段を組み合わせることで、九州は周遊が可能な地域であり、スロートラベルに適した魅力的な地域であることをPRポイントとするコースにしている。

旅程：コース1

DAY 0～1

博多港出発、小値賀島へ

- | | |
|--------|---------------|
| 23:45 | 出発（博多港～小値賀） |
| 04:40 | 到着（小値賀港） |
| ～06:00 | フェリーターミナル内で休憩 |
| 06:00～ | 自転車で島内観光 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:30 | 自転車で観光 |



14:00 チェックイン（港近くの宿）

16:00～18:00 自転車で夕陽鑑賞

18:30 夕食



DAY 2

小値賀島から中通島、若松島へ

08:00 チェックアウト

09:00 自転車観光（1.5時間）

10:55 高速船で中通島へ
（*2023年12月のダイヤ変更前時間）



12:05 有川港到着

12:15～17:00 有川港から宿泊先までサイクリング

17:00 チェックイン（五島列島B&Bの民泊）

18:30 宿にて夕食



DAY 3

若松島から福江島、長崎市、そして福岡へ

07:00 朝食&チェックアウト

07:20～07:40 土井ノ浦港まで2.6km、20分のライド

08:10 フェリーで福江島へ（奈留港経由）

09:15 福江港到着

9:30～11:30 鬼岳までサイクリング



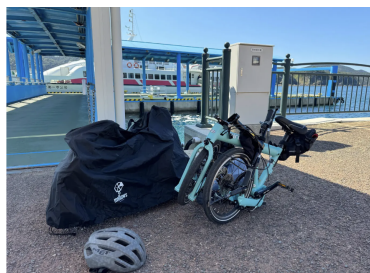
11:45 福江港出発

16:05 長崎港到着

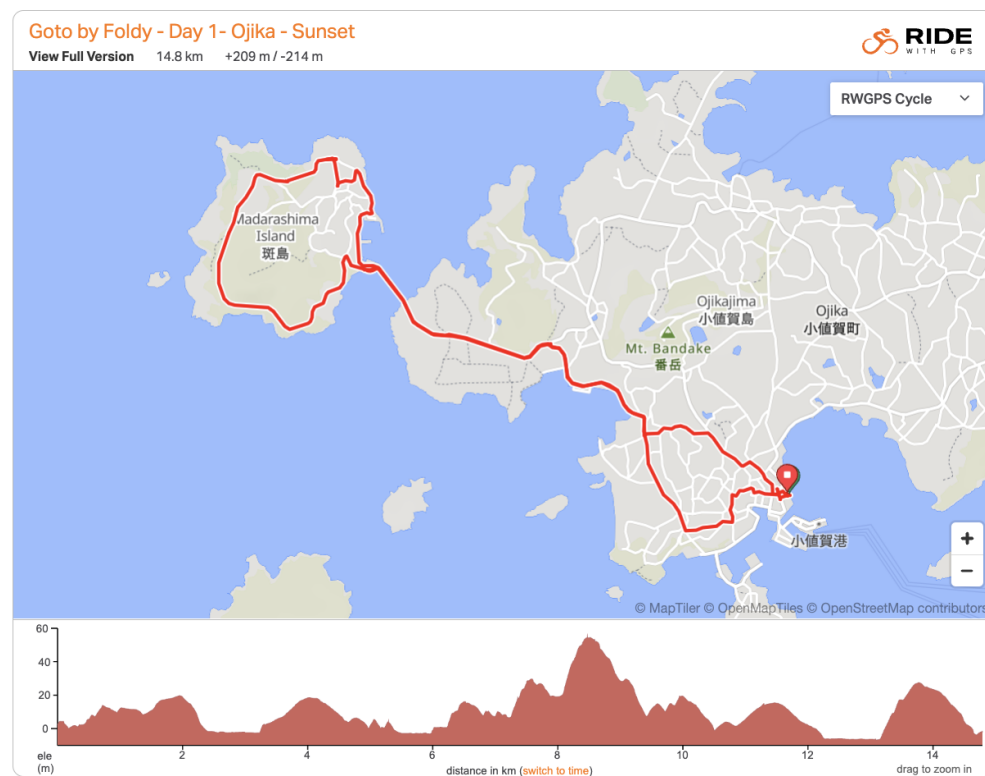
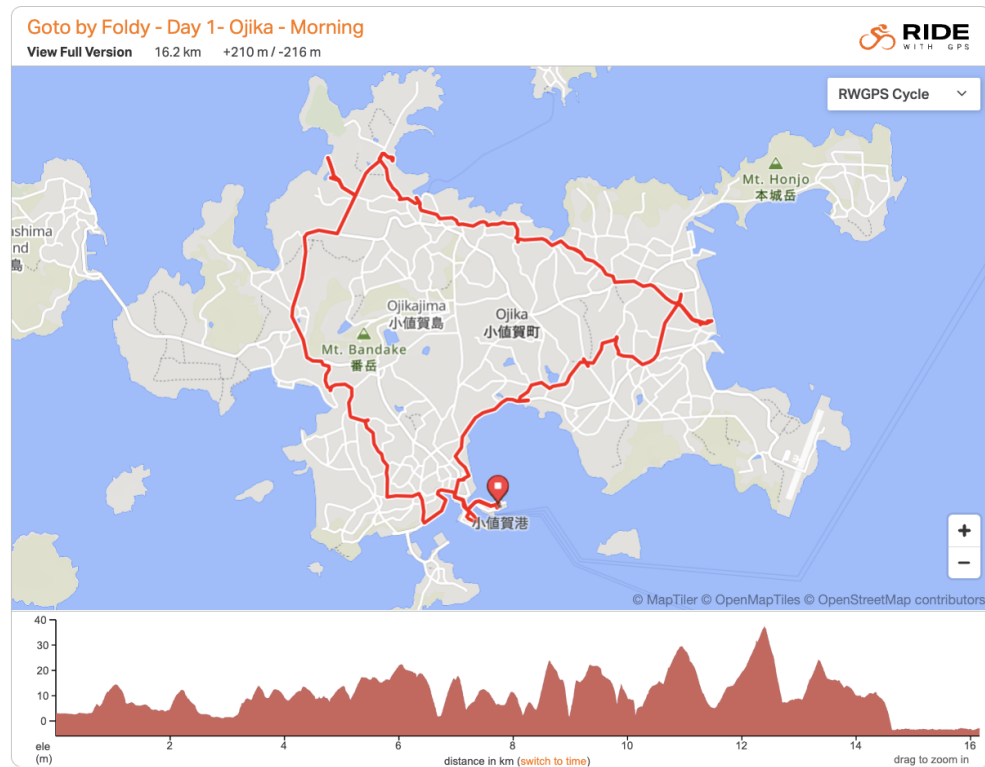
16:05～18:30 長崎市内を自転車観光。
港からJR駅までライドは10分（1.4km）

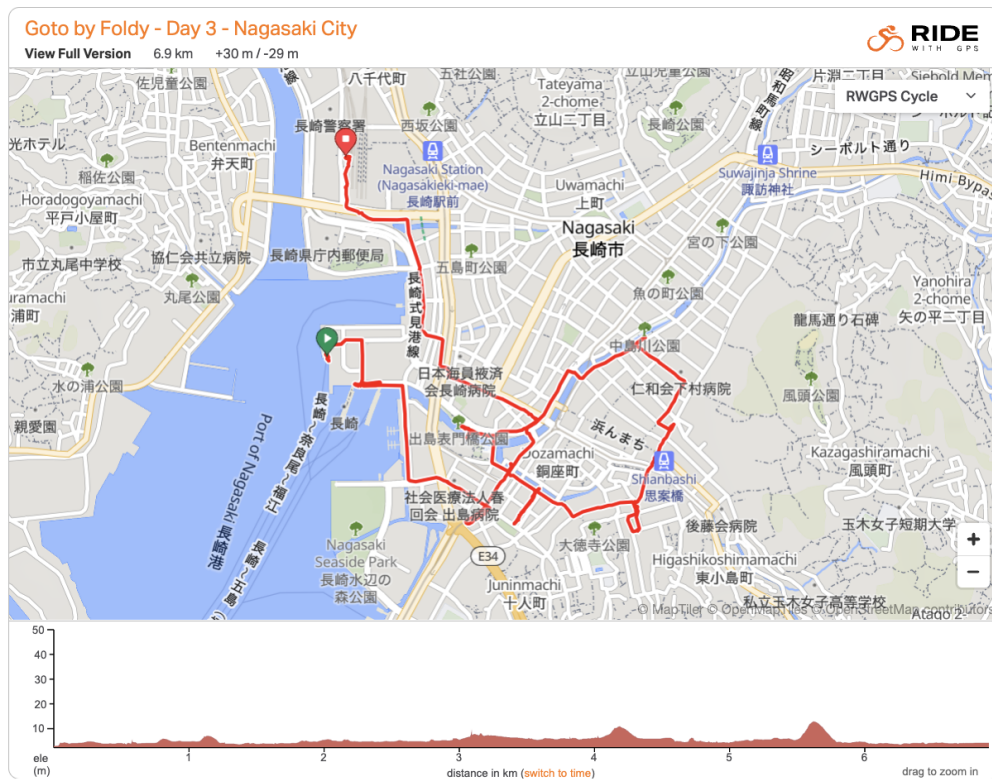
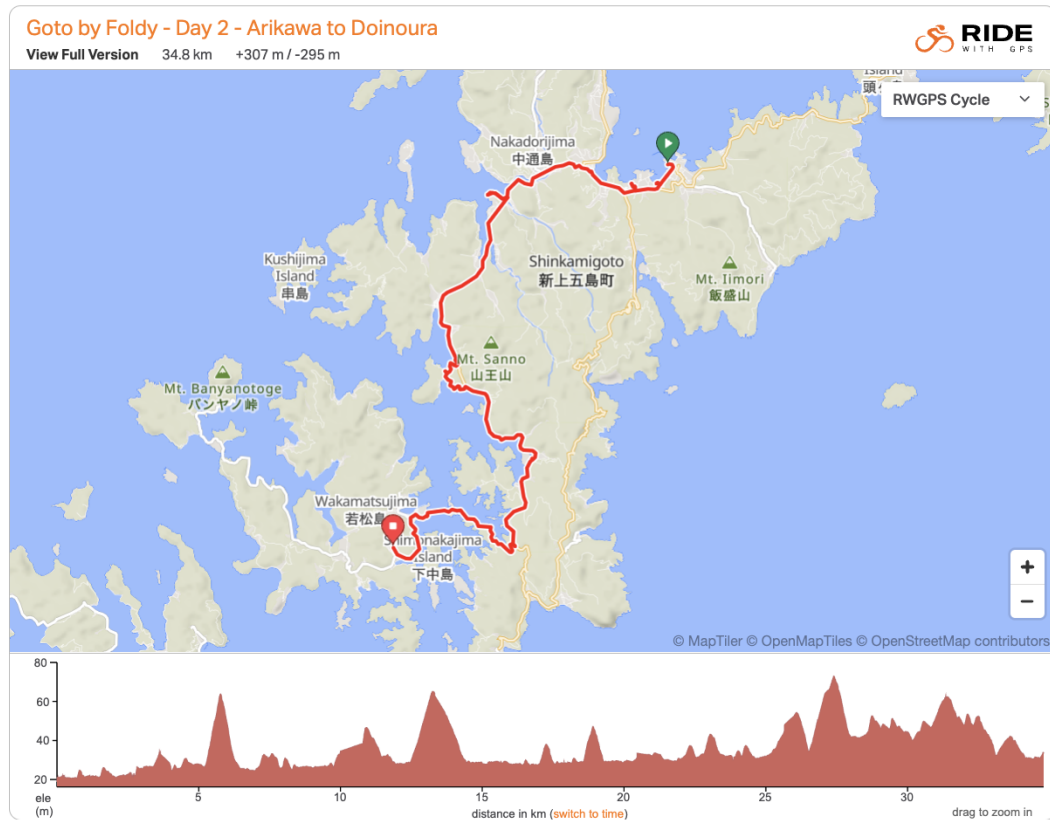
18:45 西九州新幹線出発：長崎駅～博多駅

20:09 博多駅到着



ルート図と高低





利用交通機関の英語対応と折り畳み自転車の対応状況

太古フェリー

<https://www.nomo.co.jp/taiko/>

博多港～小値賀港（フェリー）：大人片道¥4,000+¥1,090（自転車料金）
オプション¥5,200（ツインルーム1室）

- バイク・自転車（折りたたみの状態も含む）は特殊手荷物扱いとして予約必須
- 輪行バックに入れた自転車でも室内への持ち込み不可
- 特殊手荷物は乗船時間より早くに預ける必要あり（博多港21:00～23:00）
- 予約方法：日本語での電話もしくは窓口、オンライン予約は日本語のみ
- 支払方法：現金のみ

九州商船

<https://kyusho.co.jp/>

- 予約方法：日本語での電話もしくは窓口、オンライン予約は日本語のみ
- 支払方法：現金、クレジットカード

小値賀港～有川港（高速船）：大人片道¥2,670

- 折りたたみ自転車は輪行バックに入れ規定サイズ内であれば無料
- 持込手回り品は3辺合計1.58m以下かつ重量が10kg以下の物を1人2個まで

福江港～長崎港（フェリー）：大人片道¥4,080（2等）+¥840（自転車持ち込み）

- 福江島～長崎はジェットフォイルも就航しているが、ジェットフォイルには折り畳み自転車を含む自転車の持ち込みができない。

五島旅客船

<https://goto-ryokyakusen.com/newtaiyo/>

土井ノ浦～福江（高速船ニューたいよう）：大人片道¥1,390+¥530（自転車持ち込み）

- 予約方法：不可
- 支払方法：現金

JR九州

<https://www.jrkyushu.co.jp/>

長崎～博多（西九州新幹線）大人片道指定席¥6,250

- 折りたたみ自転車は輪行バックに入れば無料、予約不要
- 特大荷物スペースの利用を希望する場合、スペース付きの座席を予約する

情報発信：コース1

Webサイト（英語）

Innovative Journey through Kyushu - Ferries, Folding Bicycles, and Trains

<https://www.fukuoka-now.com/en/foldable-bicycle-nagasaki/>

Webサイト（日本語）

福岡から折りたたみ自転車で行く離島巡り！

<https://www.fukuoka-now.com/ja/foldable-bicycle-nagasaki/>

コース1：折りたたみ自転車で巡る五島列島

メディア	種類	公開日	URL	リーチ数
web（英語）	編集記事	2024年1月10日	https://www.fukuoka-now.com/en/foldable-bicycle-nagasaki/	266
web（日本語）	編集記事	2024年1月9日	https://www.fukuoka-now.com/ja/foldable-bicycle-nagasaki/	165
YouTube	ショート動画	2024年1月14日	https://youtu.be/Fd5dV_zY-fM?si=OgQBtnamezNT1Jzd	203
YouTube	ライブ配信	2023年10月17日	https://www.youtube.com/live/cRHA-TX4mRA?si=xvdOwrJnP0aLmR3K&t=96	519
Facebook	Web記事シェア	2024年1月10日	https://www.facebook.com/fukuokanow/posts/pfbid02zfrzqXPeEHZTCJDDN4XJCsTHK1gMrQKB1CbXhckdGFBQNa3cT7gkGGnopDJkHC8SI	5,239
Instagram	リール	2024年1月11日	https://www.instagram.com/stories/highlights/17866819995013229/	1,189

分析・考察：コース1

発信したメディア、SNSに入ったコメント（一部抜粋）

- A fantastic place I've always wanted to visit!
ずっと行ってみたいと思っている場所だよ！
- Please tell me the guest house in Ojika island
小値賀のゲストハウスについて教えてください
- OK, add bucket list
よっしゃ、やることリストに入れるよ！

- Wow!! You made me wanna buy that bike!
うわあ、この折り畳み自転車が欲しくなっちゃったよ



考察

- 現地に詳しく英語対応ができるノンジャパニーズ、もしくは域外からの人材は、その地を知るための圧倒的存在になる。
- 島巡り（アイランドホッピング）は、旅好きな人々、欧米系の人々にとって魅力的なコンテンツである。
- 自転車やバイクなど、自由に移動できる手段を使ったルートを紹介は、課題である二次交通をもクリアするため、九州周遊の推奨に有効である。
- 島々を繋ぐフェリーや高速船は、島民の日常交通手段となっているケースが多い。概して対応は親切であるが、自転車持ち込みのルールや支払いなどの詳細情報を得ることは、日本語ネイティブであっても容易ではない。
- 広域エリアをカバーする旅情報は限られているため、具体的なプラン、手段を提案することは効果的である。
- 各交通サービス提供事業者による情報発信は、料金、利用上の注意など必要事項を英語、日本語で雛形化・項目化して地域内で統一を図ることで、わかりやすい情報提供が実現すると考えられる。

訪問・体験	評価	コメント
フェリー（博多～小値賀）	改善の余地あり	船内は清潔。但し、ターミナル・船内には英語表記はない。予約も日本語での電話が原則なので、外国人にはハードルが高い。
小値賀観光（サイクリング）	とても魅力的	欧米豪市場に勧めたい。比較的平坦で移動にも便利な大きさと、地理的にサイクリングに適している。また、自然も適度に残っており、離島の豊かさを感じることができる。島民も友好的。
サイクリング（中通島～若松島）	魅力的	モーターなしの自転車で縦断するには、起伏があるため少々ハードである。しかし五島列島でも有数の景勝地「若松瀬戸」を見ながらサイクリングができることは大きな魅力。
民泊（五島列島B&B）	魅力的	港に近いが、宿が少ないエリアにある希少な宿泊先。あたたかなもてなしと、地域食材をふんだんに使った手作りの家庭料理に大満足。英語対応はなく、日本語での電話予約が原則。
高速船（土井ノ浦～福江）	魅力的	ターミナルは見つけにくい。予約はできないが、なんとかなる。移動途中の船上からの景色は抜群に美しい。
福江観光	魅力的	案内所は日本語のみながら、対応はとても良い。空き時間の提案もスムーズ。レンタサイクル、コインロッカーなどが揃っている。ターミナル周りにテイクアウトできる飲食店があれば便利。福江島のシンボルである鬼岳にはぜひ行って欲しい。素晴らしい眺望がある。
長崎市内観光	魅力的	長崎市内でのサイクリングは、バスや自動車自体が自転車に慣れていないため、あまり推奨はできない。しかし、道路は広いと、目的地を決めて移動するとスムーズ。自転車であれば、限られた時間内で市内にある複数の観光地を巡ることができる。
新幹線移動	魅力的	輪行バッグに入れば追加料金なく持ち込むことができる。車両は清潔でスペースも広く快適。朝晩の駅のラッシュ時を避けるとより快適。

観光コンテンツの企画・体験・取材：コース2

- コース名：バイクのための北部九州ゴールデンルート
- 訪問地：福岡空港国際線～秋月～英彦山～耶馬溪～国東半島～別府～湯布院～産山～阿蘇～熊本市内～島原～雲仙～諫早～祐徳稲荷～糸島
- 実施日：2023年10月30日～11月1日
- 日程：2泊3日
- 移動手段：バイク、フェリー
- 宿泊：ファームステイ（大分県国東市）、ホテル（熊本県南阿蘇）
- 参加者：ニック・サーズ（カナダ・トロント出身）、サーズ恵美子（福岡出身）

コース構築のコンセプト

<空港から近い景勝地>

空港から出てすぐにバイクでツーリングできる。都市部から1時間も走れば、美しくのどかな田園地帯が広がることを体感できること。空港と景勝地とのアクセスの良さを堪能できるルートを選定。走って気持ちの良い道路を通して、九州北部に点在するツーリングスポットや観光地を巡る、これがコース選定の一番の肝である。

<九州は島。活火山を体験>

九州が島であり、活火山があることを体感するために、フェリー移動と火山を感じるルートを入れている。宿は、その土地らしさを体験できることにポイントを置いて選定。

旅程：コース2

DAY 1

福岡から大分県国東へ

- 07:30 集合：レンタルバイク
- 08:00 出発
- 09:00～9:30 秋月城址
- 11:00～11:45 英彦山（経由：耶馬溪）
- 12:45～13:45 昼食（耶馬溪）
- 13:45～ 国東半島をツーリング
- 17:00 チェックイン



DAY 2

大分県国東から阿蘇へ

- 08:30 チェックアウト・出発
- 09:00～9:00 杵築城
- 10:15～10:45 明礬温泉
- 11:45～12:45 岩下コレクション



13:00～14:00 昼食（産山村）農家レストラン山の里

15:30～16:00 阿蘇 中岳火口エリア（バイク入場¥200）

17:15 チェックイン（阿蘇エリア）

DAY 3

阿蘇から雲仙、糸島へ

07:30 チェックアウト・出発（経由：ケニーロード）

09:00～ 熊本港（出航20分前までに乗船手続き終了）

09:25 熊本フェリー（二輪車750cc以上+運転手1名¥3,850、大人¥1500）約30分

Or 9:55 九商フェリー（二輪車750cc以上+運転手1名¥2,340、大人¥890）約60分

10:55 島原港

11:35～12:15 雲仙地獄、ランチ（グリーンテラス雲仙）

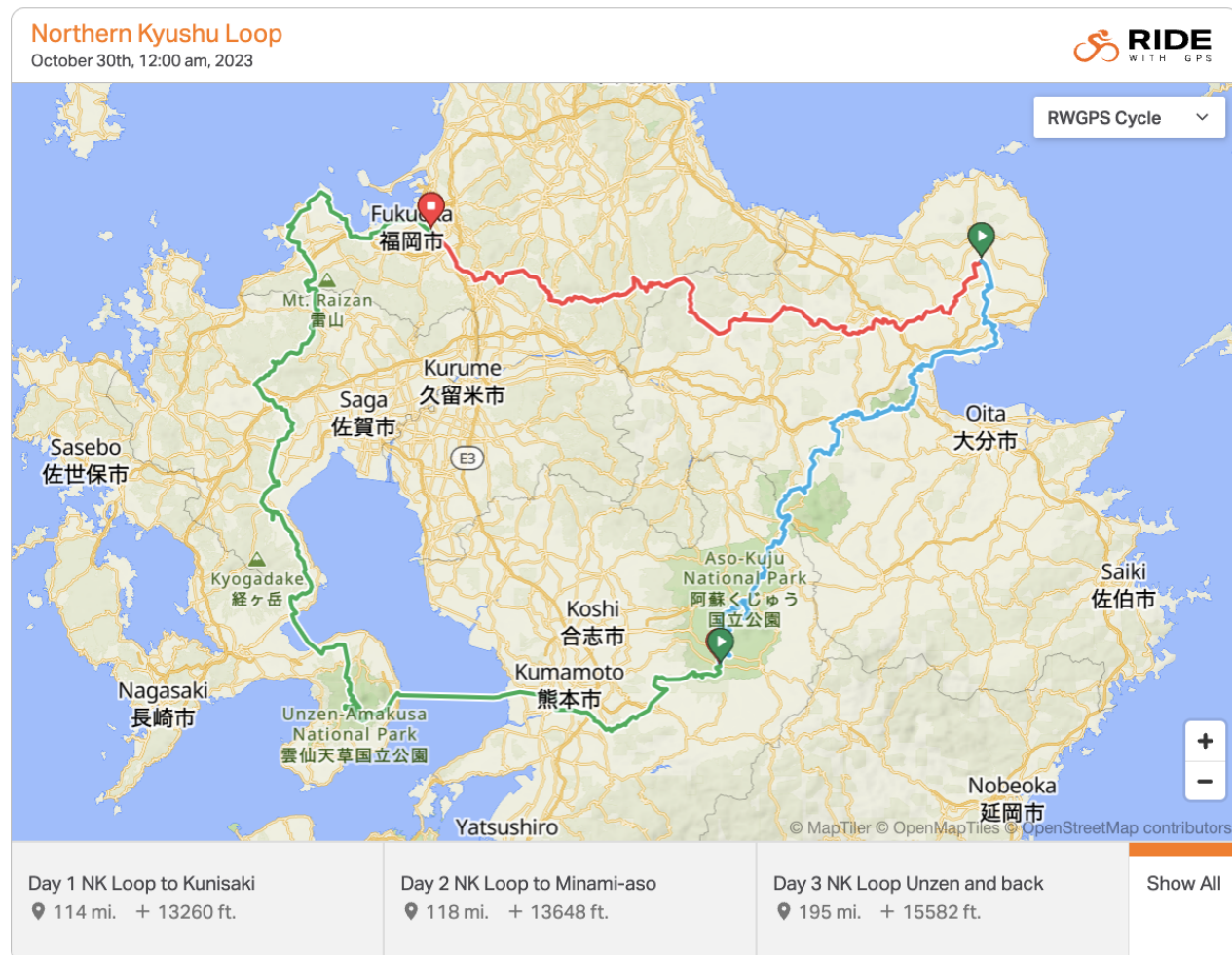
14:15～14:45 祐徳稲荷（佐賀）

17:30～18:00 二見ヶ浦（糸島）

19:00 バイク返却（ライコランド空港店）



ルート図



利用交通機関の英語対応と自動二輪車への対応状況

九商フェリー

<https://www.kyusho-ferry.co.jp/>

熊本港～島原港（フェリー）：二輪車750cc以上+運転手1名¥2,340、大人¥890（約60分）

- 予約方法：日本語での電話もしくは窓口
- 支払方法：現金、クレジットカード

情報発信：コース2

Webサイト（英語）

Kyushu On Two Wheels: Discovering Japan's Best Motorcycle Routes

<https://www.fukuoka-now.com/en/kyushu-motorcycle-adventure/>

Webサイト（日本語）

ツーリング天国・九州を楽しむ2泊3日の旅

<https://www.fukuoka-now.com/ja/kyushu-motorcycle-adventure/>

コース2：バイクのための北部九州ゴールデンルート

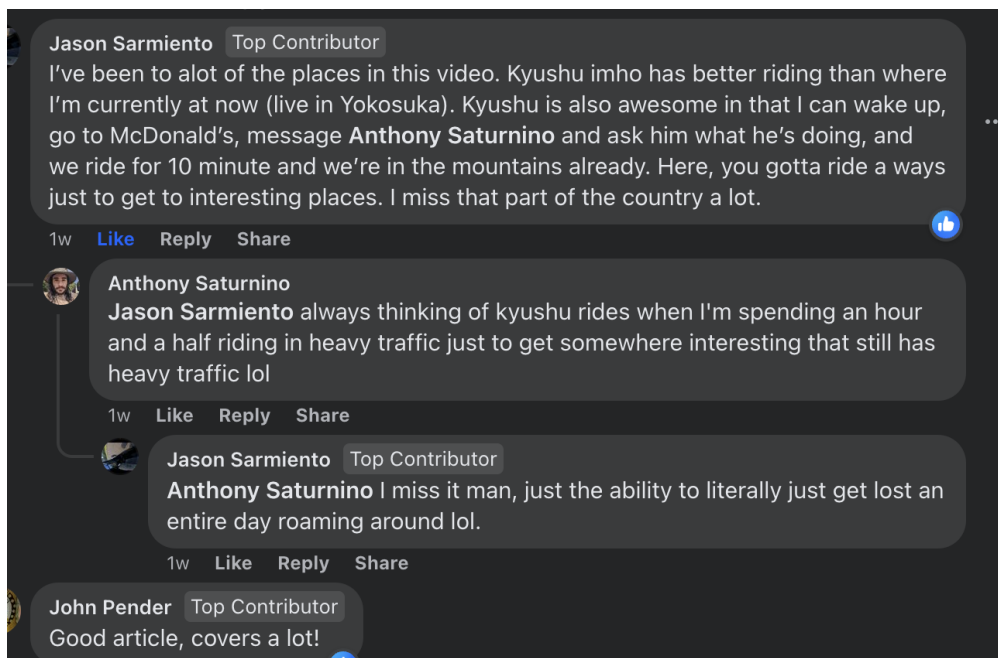
メディア	種類	公開日	URL	リーチ数
Fukuoka Now webサイト	Web記事	2024年1月17日	https://www.fukuoka-now.com/en/kyushu-motorcycle-adventure/	230
Fukuoka Now webサイト	Web記事	2024年1月17日	https://www.fukuoka-now.com/jp/kyushu-motorcycle-adventure/	933
YouTube	ショート	2024年1月17日	https://youtu.be/h0rQ3-4HH4g?si=XCd-lwnKZ2mlkC3a	569
Facebook	Web記事のシェア	2024年1月18日	https://www.facebook.com/fukuokanow/posts/873377744795456	4,734
Instagram	リール	2024年1月18日	https://www.instagram.com/reel/C2QLJoEBTxC/?igsh=bmJ2MmxscWh6ZWZn	248



分析・考察：コース2

発信したメディア、SNSに入ったコメント（一部抜粋）

- Amazing video and, of course, the production value! Now for all considering coming to Kyushu, please DON'T - we don't want to be responsible for any broken hearts while falling in love with this stunning part of the world and then the tears when you have to leave. We have seen it all, and it is becoming repetitive, so I have warned you! The memories will stay with you forever, and you will want to tell all your friends and the avalanche effect is in place, so just forget about it now and do not repeat watching this video or look for any other videos about riding in Kyushu!!!!
素晴らしい映像に充実した内容！九州を訪れようと考えている皆さん、一度訪れたら間違いなく九州の虜になり、後ろ髪を引かれることになりますから心して！全てを見た私は、もう取り憑かれたように何度も見えています。会う人ごとに伝えたいし、思わず何度も見てしまうはず…。さっさと忘れてしまわないと、九州ライドにハマってしまいますよ！
- Wow, I never thought of doing a motorcycle tour in Kyushu but I'm all in! I've ridden motorcycles in SE Asia, and the traffic and road conditions are just too unpredictable to feel comfortable, but with the excellent roads and super responsible drivers in Japan, seems it could be a real joy.
九州でバイクツアーをするなんて考えてもみなかったよ！東南アジアでバイクに乗ったけれど、交通や道路事情が予測不可能すぎて安心できなかったんだ。
- How to get motorcycle liscence in Japan quickly?
日本でのバイク運転免許はどうやってとるの？



このビデオにある各地にほとんど行ったけど、どこも今住む横須賀よりも最高のツーリングスポットだ。九州の田舎が恋しい。

考察

- 英語での情報収集が容易でないため、**具体的なルートや、レンタルバイクなどの手段を提案**するのは有意義である。
- 韓国と日本を結ぶカメリアラインのような**バイク輸送に関するインターナショナルサービスの情報提供**も行くと便利である。
- 九州の各地を巡る**モデルルートを、外国人視点で作って公開**することは、欧米豪市場へ向けたアピールに留まらず、日本人にとっても新たな視点提供となりえる、
- 多様な交通手段を使って九州を巡ることができることは、九州の魅力の一つ。九州において、このような旅の方法はあまり知られていない。
- **リーフレットやwebサイトにて、九州でのバイクの乗り方に関するFAQ**（よくある質問）を掲載することで、ウェルカムな姿勢を表すことができる。
例）免許、保険、バイクの持ち込み・送り出しについて、等。

訪問・体験	評価	コメント
レンタルバイク	魅力的	外国語対応もスムーズ（英語、韓国語）。車と同じように空港近くにあることも大きなポイント。スーツケースの預かりサービスもある。
秋月城址	普通	いい意味で普通。美しく整備されている。案内板などは全て日本語。
昼食（サルディナス） 大分県中津市耶馬溪町大島	魅力的	この場所にこのようなレストランが！と驚く。日本語での予約が必要。走りを重視するライダーにとっては時間がかかりすぎるのが難点だが、食事を重視したい場合はおすすめ。食のクオリティとこだわりのセンスは抜群。
ファームステイ（まるか） 大分県国東市安岐町明治	とても魅力的	英語対応可。農家の母屋の隣に宿泊棟があり、長期滞在も可能。自家栽培の野菜を中心に手作りの家庭料理も美味しい。ドイツ駐在経験者が営むため、欧米豪マーケットの需要に理解がある。
杵築城	普通	城見学より城下町の散策を勧めたい。築城はもちろんだが、現在の建物の築年数は、ほとんどの外国人から聞かれるため、明記した方が良い。
明礬温泉	普通	中国、韓国の団体旅行者が多い。特徴的な施設を見ることができる貴重な場所であるが、観光バスの到着と重なるとその雰囲気を感じることは困難。
岩下コレクション (大分県由布市湯布院町川北)	魅力的	膨大な数のコレクションが揃う個人ミュージアム。バイク好きには堪らない代物が揃う。世界唯一のドゥカティなど貴重な品も多数。

訪問・体験	評価	コメント
昼食 (農家レストラン山の里)	魅力的	地産地消。山間部にある牧場が運営するレストランで、その地で育った牛肉や野菜、山草を使った料理を食べることができる。英語対応はできないが、あたたかく、家庭的なもてなしが印象的。
阿蘇 中岳火口エリア	魅力的・改善必要	美しく整備された火口エリアでは、圧倒的な存在に触れることができる。しかし、火口エリアに入るまでに何度も注意を促されるのには閉口する。また、料金所エリアで終始放送される案内は、適所に案内板を置くことで解消されるように思う。周囲のヘリコプターの騒音とこの案内音声で、大自然を感じることはできない。
宿泊 (南阿蘇)	改善必要	カルデラ内に泊まりたい、と考えると宿泊の選択肢は少ない。食事の場所も多くはないため、入念にリサーチする必要があるが、英語での情報収集は容易ではない。
ケニーロード	魅力的・改善必要	聖地、と考えるバイカーも多い。すでに知名度もあるため、サイクリング、バイクツーリングを安全に受け入れるためにも、道路整備を行って欲しい。
フェリー (熊本～島原)	魅力的	快適。ターミナルも清潔でわかりやすい。日本語対応のみ。
雲仙	魅力的	この地ならではの地獄見学が散策がてらできる。地域の食材を使った気軽なランチスポットが増えると良い。唯一とも言えるグリーンテラス雲仙は満員の場合も多いので、それ以外の選択肢があると良い。
祐徳稲荷	魅力的	圧倒的な景観は欧米豪旅行者にも分かりやすい観光スポット。境内も美しく整っている。
二見ヶ浦	魅力的・改善必要	都市部から近い景勝地として知られるため、多くの観光客が車やバスで訪れる。駐車場とトイレに課題が残る。
福岡都市高速	改善必要	地名やIC名を知らないと利用が難しい。西 (WEST)、東 (EAST) などの表記があれば良い。

分析・まとめ

発信媒体であるFukuoka Now webサイト、SNSのユーザー属性から見えること

Fukuoka Nowの媒体特徴は「福岡九州の情報をタイムリーに英語で発信すること」。旅行者向けに発信される観光情報ではなく、そこに暮らす人々にとってタイムリーであることが、地域特化型メディアFukuoka Nowが考える情報の鮮度である。従って、日本国内、及び、英語圏からのアクセスが多い。国内からのアクセスにおいては、福岡からが圧倒的に多いが、佐世保や横浜など、米軍基地がある地域からの定期的なアクセスが多いことも特徴である。

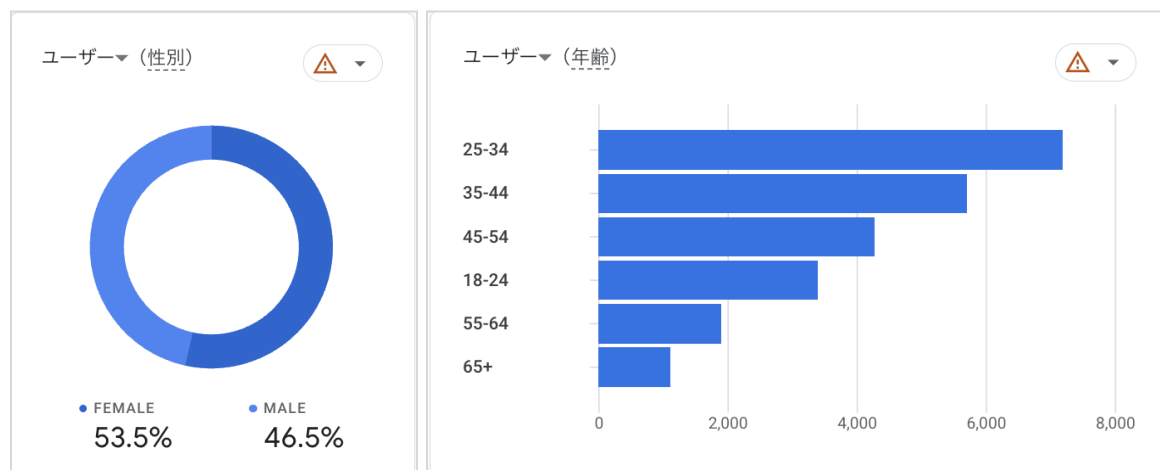
Fukuoka Nowのユーザーは、ニュースや旅、食を好む20代後半から40代を中心としたアクティブ層。情報を収集して、イベントに参加したり、旅に出る、といったアクションを好む傾向にある。近年は”九州福岡に関するビギナー”であることを共通点に、域外から福岡九州に移住した日本語ユーザーのアクセスも増えている。

なお、情報を検索する際には、世界的な知名度がまだ低い「九州」「福岡」をキーワードに探す人は少ないため、自ずと福岡九州に関わったことがある人、在住・来訪経験者など、すでに九州・福岡を知っている人、または九州・福岡について知りたいと思う人が、継続的にFukuoka Nowを利用する傾向が強い。

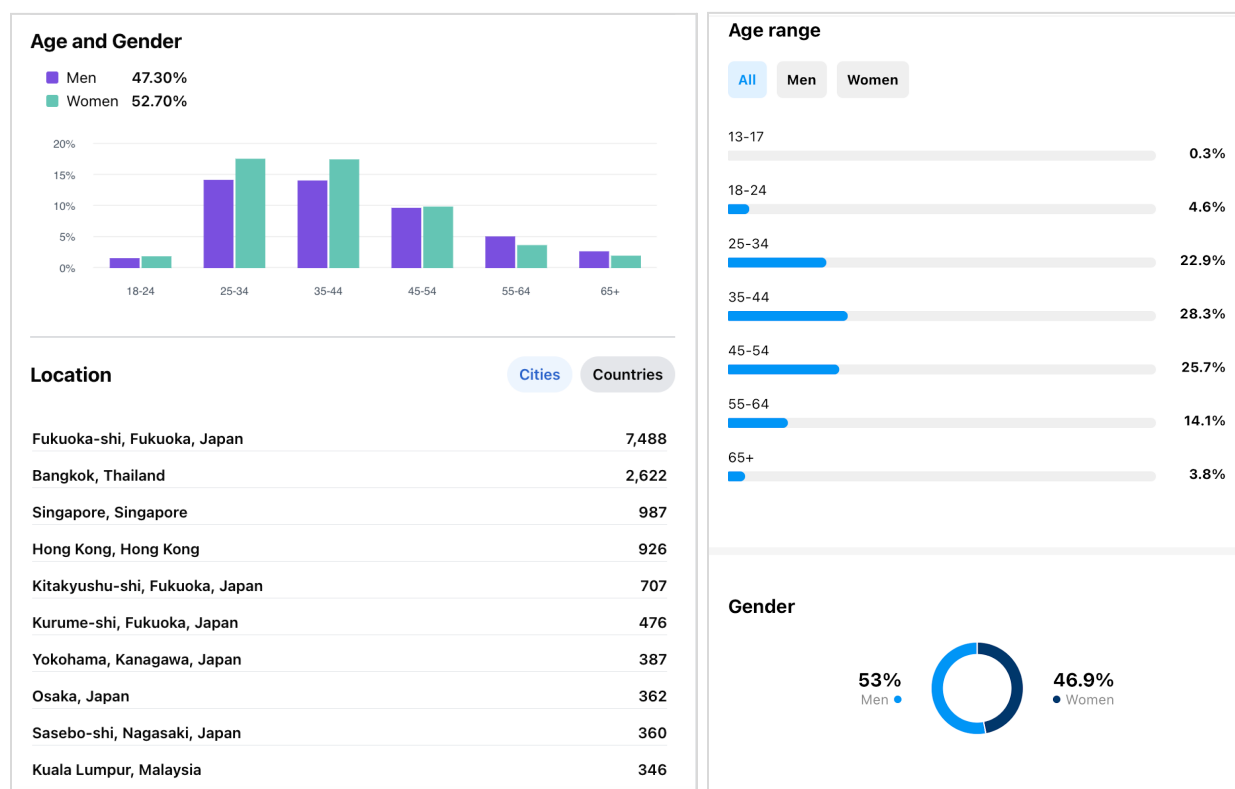
YouTubeやSNSでは、フォロワーを意識した投稿も必要であるが、投稿ごとに大きくアクセス状況が変わるため、キーワードやハッシュタグの活用が鍵となる。

「#バイク」「#折りたたみ自転車」「#ツーリング」など、世界的に通じる共通のキーワードを使って展開できるコンテンツは、マーケティングに有効である。しかし世界中に仲間がいる＝競争が存在することも理解しておく必要がある。また、ファンを繋ぎ止めたいのであれば、継続して同じキーワードを使ったコンテンツを投稿する必要がある。

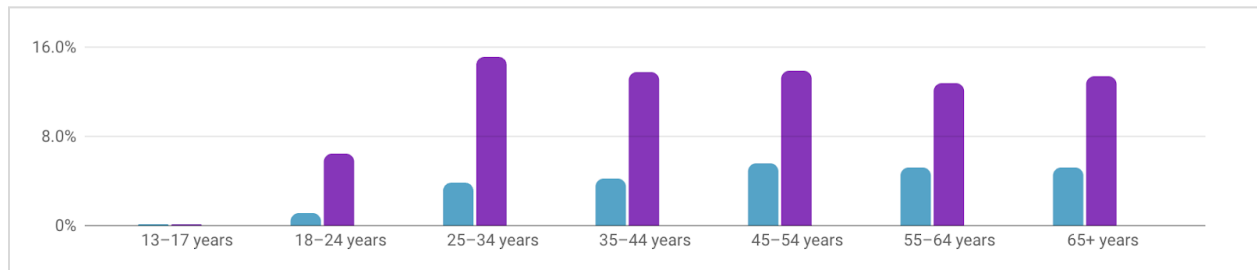
参考データ：Fukuoka Now webサイト、SNSのユーザー属性



Fukuoka Now webサイトユーザー属性

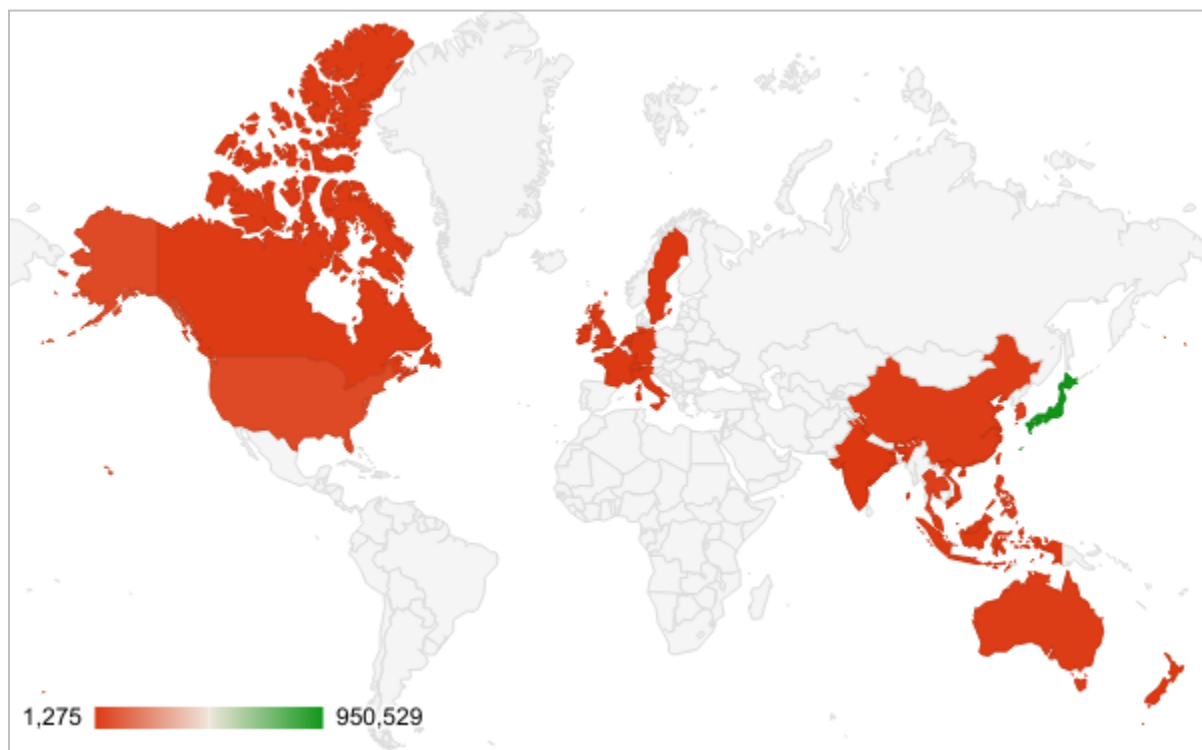


上左：Fukuoka Nowのfacebookページのユーザー属性、上右：Instagramのユーザー属性



YouTube @KyushuLive 視聴者年齢と性別（緑：女性24.8%、紫：男性75.2%）
 アクセス元は、国内69.7%、アメリカ合衆国、インドネシア、フィリピン、韓国、オーストラリア、イギリスと続く。

Fukuoka Now webサイトにアクセスする1,000ユーザー以上が存在する国



Top 10（日本を除く）

1. United States / アメリカ合衆国
2. Singapore / シンガポール
3. South Korea / 韓国
4. Hong Kong / 香港
5. Thailand / タイ
6. Philippines / フィリピン
7. China / 中国
8. Taiwan / 台湾
9. Australia / オーストラリア
10. United Kingdom / イギリス

Fukuoka Now webサイトユーザーの関心あるカテゴリTOP10

(Googleアナリティクス：ブラウザのcookieの履歴から閲覧したコンテンツを読み取り類推)

1. News & Politics/Avid News Readers/Entertainment News Enthusiasts
ニュース&政治／熱心なニュース・リーダー／エンタテインメント・ニュース愛好家
2. Travel/Travel Buffs 旅行／旅行マニア
3. Food & Dining/Cooking Enthusiasts/Aspiring Chefs
フード&ダイニング／料理愛好家／シェフ志望者
4. Media & Entertainment/Movie Lovers
メディア&エンターテインメント／映画愛好家
5. Food & Dining/Foodies
フード&ダイニング／食通グルメ
6. Media & Entertainment/TV Lovers
メディア・エンターテインメント／テレビ愛好家
7. Shoppers/Shopping Enthusiasts
ショッピング/ショッピング愛好家
8. Media & Entertainment/Comics & Animation Fans
メディア & エンターテインメント/漫画・アニメファン
9. Food & Dining/Frequently Dines Out/Dinner
フード・外食／よく外食する／ディナー
10. Food & Dining/Frequently Dines Out/Lunch
フード・外食／よく外食する／ランチ

Fukuoka Now webサイト英語ページ年間上位アクセス Top10

1. 掲示板（福岡在住外国人の交流の場）
<https://www.fukuoka-now.com/en/classified/archive/>
2. トップページ：<https://www.fukuoka-now.com/en/>
3. イベント情報：<https://www.fukuoka-now.com/en/event/archive/>
4. 時事ニュース：<https://www.fukuoka-now.com/en/news/archive/>
5. 桜ガイド：<https://www.fukuoka-now.com/en/fukuoka-sakura-and-ohanami-guide/>
6. 特集・Fukuoka Nowレポート：<https://www.fukuoka-now.com/en/nowreports/>
7. 糸島カキ小屋ガイド：
<https://www.fukuoka-now.com/en/itoshima-kakigoya-oyster-hut-guide/>
8. イベント情報2ページ目：<https://www.fukuoka-now.com/en/event/archive/page/2/>
9. いちご狩りガイド：<https://www.fukuoka-now.com/en/fukuoka-strawberry-picking-guide/>
10. 紅葉ガイド：<https://www.fukuoka-now.com/en/fukuoka-autumn-leaves-guide/>

ターゲット

欧米系の訪日外国人や、訪日を予定している人々の中でも、九州を訪れる人・九州を調べる人は圧倒的に少ないが、以下のような人をターゲットにすることで、国内の他地域と差別化が可能だと考えられる。

1. すでに日本を訪れたことがある人
2. 知られていない日本を探す人
3. ありきたりの都市観光ではないものを探す人
4. 冒険が好きな人

加えて東京や京都、アジア諸国の他の地域と『DIFFERENT（異なる）』こともアピールポイントである。そのアピールが響く人々は以下のような人たちだと考えられる。

- 本州や四国で完結したくない人たち
- オルタナティブ、マイナー、メジャーでないものを好む人
- 田舎が好きな人
- 地域文化に関心ある人
- 自然を大切にする人

旅先として選ばれる環境づくり

このような人々の特性や思考に基づくと、レスポンスブルトラベル、サステナブルな取り組みに通じる以下のような対応が、ターゲットとする人々に、九州が旅先として選ばれる環境づくりに繋がると考えられる。

- 地域の人々が大切にしている環境への配慮・取り組みを伝え、旅行者にも具体的なサービスとして選択肢を提案。
- 自然の中に人工物はできるだけ設置しない。支柱やゴミ箱など、必要なものを設置する場合は、設置環境に馴染むデザインと長く使うことができる資材を選ぶ（プラスチック、ビニール、のぼりなどは極力避ける）。
- 観光スポット、景勝地などに設置する看板の統一（形式、素材、掲載言語）。
- 各地の注意事項（高潮、離岸流、強風、野生動物など）は、英語、日本語のバイリンガル形式で掲載。
- 支払いは、現金、QRコード決済よりも、クレジットカードの『タッチ』機能が便利。
- 飛行機や自家用車より、列車や船、自転車を使った環境によりやさしいスロートラベルを提唱
- 壱岐、対馬、五島、甕島などの離島への旅を奨励
- 旅先として地域をまとめ、周遊を推奨
- 地産地消の推奨

ブランディング

ブランディングのキーワードは『**Kyushu Island**』。Kyushuだけでなくislandをセットにすることで、「島 (island)」がもつ冒険的な要素や独自性などのイメージが加わり魅力が増す。

また、年中温暖な九州は、大嵐や凍結など気候的に移動が制限される時期がほぼないことは大きなアピールポイントである。

情報発信

- オンラインメディアのユーザーは変化しており、発信する内容によって使い分ける必要がある。
 - webをはじめ、近年、若年層を中心にユーザーを増やしているInstagram、動画で情報収集を行うYouTube視聴者など、多様な展開を行うことで、それぞれのコアターゲットに届く可能性がある
 - 媒体のもつフォロワーやページビューも大切ではあるが、そもそもフォローしていないチャンネル（アカウント）も、検索やシステムのアルゴリズムによって自動的に表示されるため、投稿の際には、**ハッシュタグやロケーションの設定**が重要である。
- Webサイト：詳しくレポートを掲載するのに最適。読者それぞれの環境によって翻訳を使うことができるよう、シンプルなレイアウトとテキスト形式での掲載が望ましい。
- Instagramは、ユーザーが増えている媒体の一つ。ただし、他のサービスと連携する機能が少ないため、画像と短時間で情報提供を完結させる必要がある。

参考事例：看板統一とバイリンガル表記例

ビーチやトレイルなどの入口には注意事項が記された英語とフランスとのバイリンガル表記の看板が設置されている。いずれも形やフォントが統一されている。注意を促す看板ではあるが、観光スポットであることの目印にもなる。



パシフィックリム国立公園保護区、カナダ南西部ブリティッシュコロンビア州

歴史や自然環境に関する学びを得られる看板が随所に設置されているため、ここを訪れた人は、大切にすべきことを目にすることができる。「5分間でできるビーチクリーン」など、すぐに実行できる環境保全を提案・推奨する看板と、頑丈なゴミ箱。



今後の取り組み

1. 分析結果を活用し、引き続き欧米豪市場向けの商品造成やプロモーション方法の検討支援等を実施。
2. 継続して情報共有を行うため、より広く関係者等への周知を実施。

